



自転車の迷惑 危険運転追放



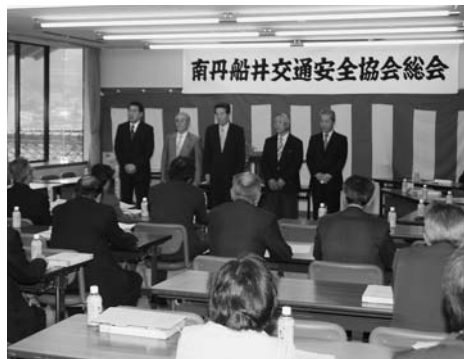
京都府交通対策協議会では、「自転車の迷惑・危険運転追放府民運動」を展開し、毎月二十日を「自転車の迷惑・危険運転追放推進日」と定め、年間を通して府域一斉街頭啓発活動が行われます。

南丹市では五月十九日、JR園部駅西口にある南丹市園部駐輪場周辺を中心に南丹船井交通安全協会南丹支部の皆さんや市交通指導員、南丹警察署、南丹市職員による啓発活動が行われ、自転車利用者のマナー向上を呼びかけるチラシを配って、安全運転啓発と指導を行いました。

マナーの向上を呼びかけました

市町村合併により誕生した南丹市、京丹波町を管轄とする南丹船井交通安全協会の設立総会が、南丹市園部公民館で開かれました。総会では、旧支部事務局担当者に感謝状が贈られた後、平成十八年度の事業計画や予算が協議され、交通安全運動の推進や、安全運転講習会など、啓発活動の取り組みが決められました。また、新役員が選任され、代表して寺井昌夫会長が「南丹市と京丹波町が協力しあって、地域の安全安心に努めていきたい」と意気込みを述べられました。

交通安全活動の 推進を誓って



地域の交通安全活動を進めていきます

社会福祉に貢献し 会の発展をめざす

南丹市身体障害者福祉会設立総会が五月十八日、南丹市日吉町生涯学習センターで開催されました。昨年五月から旧四町にあった身体障害者福祉会の合併が検討され、旧町の特色を大事にしながら南丹市身体障害者福祉会として活動することとなりました。

総会では、長野勇吉会長が「地域や行政と一体となって、活動を後退させないよう努めたい」とあいさつをされ、会員の社会参加と自立更生に積極的に取り組む事業計画が策定されました。



あいさつをされる長野勇吉会長

五月二十一日、南丹市園部公園多目的運動場で、南丹市、京丹波町消防団の警防指導員および新入団員二百十三人を対象とした訓練が実施され、消防技術の向上と士気の高揚に励みました。参加した団員らは、消防団員としての心構えの講義を受けた後、礼式訓練、ホースの取扱いなど基本的な動作、規律訓練を中心に熱心に指導を受けていました。また、園部支団によるポンプ車操法、小型ポンプ車操法が披露され、正確で素早く、華麗な操法が行われました。

府消防協会南丹 船井支部教育訓練



一つひとつの動作を的確に